

ORソフトウェア研究グループ最終報告

静岡大学 八巻直一 Naokazu YAMAKI
 青山学院女子短期大学 宮田雅智 Masanori MIYATA

主査	八巻直一 (所属 静岡大学)
幹事	宮田雅智 (所属 青山学院女子短期大学)
メンバー	常時参加者
1	内田智史 (神奈川大学)
2	久保田光一 (中央大学)
3	新村秀一 (成蹊大学)
4	反町洋一 (つくば国際大学)
5	平林隆一 (東京理科大学)
6	本郷茂 (青山学院大学)
7	矢部博 (東京理科大学)
8	山下浩 (㈱数理システム)
9	川合庸一 (川合産業研究事務所)
10	前田英次郎 (ラボ・テリー)
11	品野勇治 (東京理科大学)
12	高橋悟 (東京理科大学)
13	高森寛 (青山学院大学)
14	北口秀美 (㈱東芝)
15	伊理正夫 (中央大学)
16	大津崇 (㈱システム計画研究所)
17	草刈君子 (富士通)
18	宮崎知明 (富士通)

1 研究内容

本研究グループは、ORソフトウェア研究部会の活動を継続するために1年間のグループ活動を申請した。本研究グループは、ORに有用なソフトウェアやアルゴリズムを、紹介あるいは研究することを目的として活動している。今年度は、昨年度に続き、モデリング環境について勉強会を継続した。現在、シンポジウムの準備をしている。なお、IE協会主催の「意思決定と計画の技法－EXCELを使った新しい意思決定と計画の技法」セミナーの支援をした。

本研究部会は、ORに有用なソフトウェアやアルゴリズムを、紹介あるいは研究することを目的として活動している。研究の内訳を大きく三つに区分し、それぞれで成果を期するように配慮した。

1. モデリング環境

主としてモデリングを研究対象として、モデリング言語や手法について研究を進めてきた。

2. 電子メールサービス

メイリングリストを開設し、現在学会で公式に電子メールを活用できるようになった。

3. ソフトウェアの知的所有権 1995年3月10日～11日にソフトウェア/アルゴリズムの権利・保護に関する日米シンポジウムの開催した。

2 研究成果

- 93/6/2 研究部会の発足と分科会の設定 (八巻直一)
- 93/7/27 数理計画法パッケージEXPRESS-MP (東巖)
- 93/9/30 離散系シミュレーションの利用状況とソフトウェアの動向 (森戸晋)
- 93/10/7 カーマーカーの線形計画特許について (今野浩)
- 93/11/18 逐次線形化法を用いた大規模非線形計画問題計算システム (山川栄樹)
- 93/12/18 数理計画システム micro-NAPS の概要とデモンストレーション (南石晃明)
- 94/1/26 新数理計画システムSOPTと大規模スケジューリングへの応用 (伊倉義郎)
- 94/2/25 ソフトウェアと特許 (佐野稔)
- 94/4/21 S-PLUSの有効利用 (上田太一郎)
Sにおけるノンパラメトリック時系列解析 (岡山正之)
- 94/5/19 東京電力におけるSASの利用事例 (西村公雄)
- 94/6/30 統計パッケージSPSSの利用事例 (尾田友志)
- 94/9/22 オブジェクト指向モデルによる生産計画 (宮崎知明)
- 94/10/20 ネットワーク数値情報ライブラリ Ninf
-広域分散コンピューティングに向けて- (佐藤三久 関口智嗣)
- 94/11/24 自然な数式表現による数学計算のインターフェイス (桜井鉄也 趙 燕結)
- 94/12/17 新たなダイナミックシミュレーション法
-GSIM法の基本原理と応用例およびシミュレータの開発- (高 振宇)
- 95/5/10 ①本年度の活動方針の検討会
- 95/6/17 GUI (フロー図) による数理計画法の自動モデリングアプローチ
モデリング言語SIMPLEの提案 (山下浩)
- 95/7/28 半正定値計画 (SDP) に対する内点法プログラムの開発と、
組み合わせ最適化問題に対する適用 (小島政和 藤沢克樹)
- 95/7/25 自然な数学表記のためのユーザインターフェイス (桜井鉄也)
- 95/10/7 GAMSについて (原田拓)
- 95/10/19 確率的電力供給計画モデル (椎名孝之)
- 95/11/9 High Performance Computing 分野における情報交換 (長谷川秀彦)
- 95/12/16 数学ソフトウェア小話 (鳥居達生)
- 96/1/18 分散最小化離散資源配分問題-数値実験結果 (一森哲男)